

科目名・単位数		介護過程 (2年次) (2)単位		学習レベル	基礎
学習目標					
① 利用者の尊厳の保持、自立生活支援の観点から介護過程の意義と役割を理解する。 ② 利用者の生活課題の解決に向け、介護職として望ましい考えのもと介護過程を展開できる能力と態度を育てる。					
学期	学習内容		学習のねらい	備考	
前期 (4月～9月)	4月	オリエンテーション 第1編 介護過程の意義と目的 第1章 介護過程がめざすもの 第1節 生活支援と根拠にもとづいた介護	・年間の授業計画と基本的な心構えを準備する。 ・根拠に基づいた介護の実践には、利用者視点での生活課題の解決を目的とした介護過程が必要であることを理解する。	・ワークシート	
	5月	第2節 介護過程の意義	・介護過程における各展開過程を理解するとともに、計画自体の意義について考察する。	・ワークシート	
	6月 7月	第3節 介護過程の目的・基本視点	・介護過程の目的を、日本国憲法にある基本的人権や生存権、幸福追求権を根拠に理解するとともに、実際に展開していく中で求められる視点について考察する。	・ワークシート	
	9月	第2編 介護過程の展開 第1章 情報収集とアセスメント 第1節 アセスメント	・アセスメントの目的や実施していくうえで必要とされる能力について理解するとともに、ICFの視点を活かした望ましいアセスメントのあり方を考察する。	・ワークシート	
後期 (10月～3月)	10月	第2節 情報の収集	・情報収集に関する手段や実際に収集していく中で留意点を理解するとともに、介護過程の中で情報収集が果たす役割について考察する。	・ワークシート	
	11月	第3節 情報の解釈・関連づけ・統合化	・収集した情報の解釈から関連づけ及び統合化、その後の課題の明確化までの一連の流れについて考察する。	・ワークシート	
	12月	第4節 課題の明確化	・抽出された課題をいかに利用者のニーズに対応した形にしていくか、その方法について考察する。		
	1月	第5節 情報の記載の方法	・得られた情報をいかに整理するか、フェイスシートへの記載を中心にその方法を理解する。	・ワークシート	
	2月	第2章 生活課題の目標の設定 第1節 目標の設定	・介護目標を長期、短期に設定することで、目標達成に向けた段階的な取組みの必要性を理解するとともに目標設定の留意点について考察する。併せて、介護専門委員が作成する施設及び居宅におけるケアプランと介護職が作成する個別介護計画の概要、互いに果たしている役割について学ぶ。	・ワークシート	
3月	第2節 目標の共有化	・介護目標の達成には、介護職として利用者、家族、多職種との課題や情報の共有が必要不可欠であることを理解する。	・ワークシート		
評価の観点と方法					
観点 ① 自立生活支援の視点から介護過程の意義と役割を理解することができたか。 ② アセスメント・計画の立案・実施・評価の各目的と展開方法を理解することができたか。 ③ 介護過程の理論と実習体験を関連づけながら介護過程を展開する能力と態度を身につけることができたか。					
方法 ① 上にあげた観点を総合的に評価する。					
使用教科書・副読本		介護過程(実教出版)			